

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム



を活用した学習の事例（指導案等）



概 要	
学年・教科・単元等	小学校6年生・社会科・新しい日本、平和な日本へ
活用方法	「見出す」場面において、資料を比較して、児童の関心や疑問を促した。その後、個人で予想を考えさせ、KJ法を用いて話し合い活動を行い、学級全体ではキーワードを整理した。
成果等	資料を通して時代の急激な変化を捉え、児童に強い関心を抱かすことができた。自分の予想、グループでの話し合い、全体でのキーワードの整理と、順を追って「思考し、表現する場」を設けることで、学習意欲を相乗的に抱かせることができた。

1 単元名 新しい日本、平和な日本へ

2 単元について

(1) 単元観

目標 (1) 国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるようにするとともに、我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情を育てるようにする。

内容 ケ 日華事変、我が国にかかわる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピックの開催などについて調べ、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かること。

本単元は、戦後の日本の歩みに関わる内容である。「日本国憲法の制定」について調べるとは、戦後我が国が民主的な国家として出発したことが分かるようにすることである。なお、憲法の基本的な原則などについては、内容の(2)のイの日本国憲法に関する学習において指導するようにする。

「オリンピックの開催」について調べるとは、アジアで初めて行われた1964年東京オリンピック大会や、その後我が国で開催されたオリンピック大会を取り上げて調べ、それらが一つの契機となって国民生活が向上したことが分かるようにすることである。「戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かる」とは、国民の不断の努力によって国民生活が豊かになり、国際連合加盟後に様々な活動に協力し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かるようにすることである。また、本単元は中学校の内容である「ア 冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを通して、第二次世界大戦後の諸改革の特色を考えさせ、世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解させる。」に繋がる。日本が戦後に目覚ましい復興を果たしていく過程について調べることで、我が国の歴史や伝統を誇りに思う心情を育てていくことができる単元である。

(2) 指導観

「見出す」場面において、資料の「ずれ」や「隔たり」を感じさせて、児童の問題意識を引き出していく。戦後の新宿の焼け野原の写真と戦災孤児・戦後買い出しの資料を通して、あまりに悲惨

だった戦争を前単元の学習を想起させながら再認識させていく。次に、19年後の生まれ変わった新宿の写真や東京オリンピックの華やかな写真を提示して、短期間による急激な復興を捉えさせ、児童の「どうして」「おかしいぞ」との問題意識を促していく。そして、短期間でどうして復興できたのかを思考ツール（KJ法）を用いてグループで予想させる。予想については、根拠は求め過ぎず自由な発想を促す。子ども同士の活発な意見の交流は、歴史的事象を具体的に調べてみたい気持ちを引き出していくことにつながると考える。本時での板書は思考ツール（クラゲチャート）を用いる。

「自分で取り組む」場面では、予想した事柄のキーワードを基に、調べる視点を明確に提示して取り組ませる。用語や語句についても教科書や資料集から十分にまとめさせていく。

「広げ深める」場面では、グループや全体的話し合いを通して、各自の調べたことをもちより、一人では気付かなかった見方や考え方をもちよせていく。グループの話し合いでは、思考ツール（KJ法）を用いる。全体的話し合いでは、思考ツール（フィッシュボーン）を用いて、歴史的事象や各人の考えを視覚的に整理し、本単元の中心的な内容である、戦後の急激な復興の要因に迫っていく。また、復興と歴史的事象の一つ一つの繋がりについて、友だちの意見を十分に聞かせて、思考の深まりももちよせていく。

「まとめあげる」場面では、歴史的事象を時系列でノートに記述させ、戦後の復興の要因や国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことの理解の定着をはかり、友だちの考えを聞いて感じたことも表現させていく。

3 単元の目標

- ・我が国の戦後の歩みに関心をもち、進んで調べようとする。（社会的事象への関心・意欲・態度）
- ・戦後改革や日本国憲法の制定、国際社会への復帰、東京オリンピック、産業の発展などについて調べたことを比較したり、関連付けたり総合したりして、戦後、我が国が民主的な国家として出発したことや国民の不断努力、国際社会のなかで重要な役割を果たしてきたことについて考え、言語などで適切に表現できる。（社会的な思考・判断・表現）
- ・資料を活用して、戦後改革や日本国憲法の制定、国際社会への復帰、東京オリンピック、産業の発展などについて必要な情報を集め、読み取ることができる。（観察・資料活用の技能）
- ・戦後、我が国が民主的な国家として出発し、国民の不断努力によって国民生活が向上し、国際社会のなかで重要な役割を果たしてきたことが理解できる。（社会的事象についての知識・理解）

4 指導計画（7時間扱い）

学習	時配	学習内容と学習活動	評価規準（評価の観点・評価方法）
見出す	1 1/7 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後の新宿や戦災孤児・戦後買い出しの写真とその19年後の新宿の写真や華やかな東京オリンピックの写真を比較させ、急激な日本の変化に気付かせ、どうして復興できたか予想する。 ・学習問題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">戦後、日本はどのようにして急激な復興ができたのだろうか。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後の日本の急激な変化に関心をもち、その要因について予想し、学習問題を考えようとしている。（関、意、態・行動観察、ノート） ・戦後の日本の急激な変化について、その要因を予想し、表現している。（思、判、表・行動観察、ノート）
自分で取り組む	1 1	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や資料集を活用し、我が国が民主的な改革と平和主義的な日本国憲法を制定することにより、新しい国として出発したことについて調べる。 ・教科書や資料集を活用し、朝鮮戦争や東西の対立など、国際社会の動きのなかで、日本の独立が承認され、復興を願う国民の努 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を活用して、戦後改革や日本国憲法の制定について必要な情報を集め、ノートにまとめようとしている。（技・ノート） ・資料を活用して、日本の国際社会への復帰や産業の復興について必要な情報を集め、ノートにまとめ

	1	力によって産業が発展したことを調べる。 ・教科書や資料集を活用し、オリンピックの開催が契機になり、国際社会に認められるとともに、さらに経済が発展し、国民の生活が向上したことについて調べる。	ようとしている。(技・ノート) ・資料を活用して、東京オリンピックの開催や産業の発展について必要な情報を集め、ノートにまとめようとしている。(技・ノート)
	1	・現在の日本が抱える問題や果たすべき役割について調べる。	・平和で民主的な国家の一員として、日本が抱える問題やよりよい社会のあり方について考えようとしている。 (関、意、態・行動観察、ノート)
広げ 深める	1	・戦後改革や日本国憲法の制定、国際社会への復帰、産業の発展、東京オリンピックなどについて調べたことを、思考ツール(KJ法)を用いて4人グループで話し合う。 ・思考ツール(フィッシュボーン)を用いて全体の話し合いを整理し、日本はどのように復興を果たすことができたのか、友だちの考えを聞いて思考を深める。 ・歴史的事象同士のつながりを考えさせ、意見の交流をはかる。	・民主国家として出発したこと、国際社会へ復帰したこと、東京オリンピック開催などの歴史的事象を整理し、戦後の復興の要因を言語やノートなどで適切に表現しようとしている。 (思、判、表・行動観察、ノート)
まとめ あげる	1	・これまで調べたことや話し合ったことを文章でノートにまとめる。	○戦後、我が国が民主的な国家として出発し、国民の不断の努力によって国民生活が向上し、国際社会のなかで重要な役割を果たしてきたことを理解しようとしている。 (知、理・ノート)

5 本時の指導

(1) 目標

- ・戦後の日本の急激な変化に関心をもち、その要因について予想し、学習問題を考えようとする。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- ・戦後の日本の急激な変化について、その要因を予想し、表現できる。

(社会的な思考・判断・表現)

(2) 展開

時配	学習内容と学習活動	指導・支援 ○評価	資料
4	1 終戦直後の3枚の写真を見て、戦禍の大きさに気付く。 ・建物が壊れている ・かわいそう ・物が無い	・それぞれの写真をじっくりと読み取らせる。 ・戦災孤児や戦後買い出しの写真は、教師が補足説明し戦禍の悲惨さを感じさせる。	・戦後直後新宿の写真 ・戦災孤児の写真 ・戦後買い出しの写真
6	2 19年後の新宿や東京オリンピックの写真を提示して、戦後直後の様子で見比べて、感じたことを話し合う。 ・高い建物が立った。 ・自動車が走っている	・先に見せた写真と同じ場所であることを確認する。 ・1964年東京オリンピックの華やかな様子を補足説明し、大成功の大会であったことを感じさせる。 ・ひどい焼け野原の状態から高層ビルが建つと	・1964年ごろの新宿の写真 ・1964東京オリンピックの写真 ・1964東海新幹線開通の写真

	<ul style="list-style-type: none"> ・華やかなオリンピック ・どうやって日本は復興したか。 ・わずか19年はすごい。 	<p>いう変化は、江戸時代末から明治維新の変化と比較してどうかを考えさせる。</p>	
20	<p>3 どうやって日本は復興したのか、KJ法を用いて予想し、グループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい制度ができた。 ・オリンピックに向けてがんばった。 ・外国とうまく仲直りした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初は個人で付箋紙に記入させ、その後4人グループでシェアリングさせ、キーワード化させる。 ・記入できない児童には、自由な発想をもたせて根拠のない予想でもよいことを伝える。 <p>○戦後の日本の急激な変化について、その要因を予想し、表現している。 (思、判、表・行動観察、ワークシート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋紙 ・ミニボード(8個) ・キーワード用カード
12	<p>4 キーワードをもちよって、全体で話し合い、学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい制度 ・外交 ・オリンピック ・人々の努力 	<ul style="list-style-type: none"> ・思考ツール(クラゲチャート)を用いて、児童が考えたキーワードを教師が整理する。 <p>○戦後の日本の急激な変化に関心をもち、その要因について予想し、学習問題を考えようとしている。 (関、意、態・行動観察、ワークシート)</p>	
<p>戦後、日本はどうして急激な復興ができたのだろうか。</p>			
3	<p>5 調べる計画を立て、学習の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キーワードを元に調べる視点を提示して、学習の見通しをもたせる。 	

(3) 板書計画



